

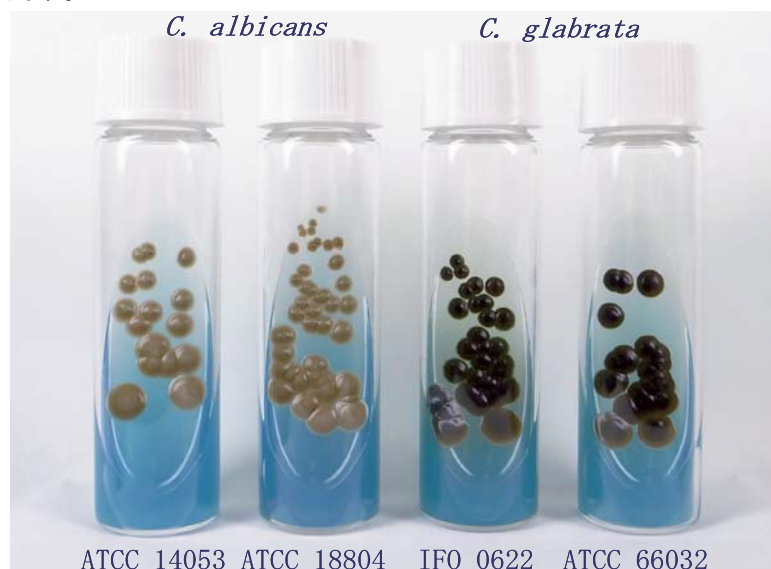
「セロテック」CA-TG培地

*Candida albicans*など特定の病原性*Candida*属菌種は、深部組織・臓器の感染（深在性真菌症）に加え、しばしば皮膚、爪および周囲組織、口腔咽頭粘膜、膣粘膜などに限局性の表在性真菌症を引き起こします。皮膚カンジダ症は、皮膚真菌症としては白癬について発生率が高く、口腔や膣・外陰部の真菌症の大半を占めるのも*Candida*属菌による感染症です。原因菌としては、*C. albicans*が圧倒的に多く、膣カンジダ症においても*C. albicans*が最多原因菌であります。最近、他のカンジダ属菌とは治療に用いられる抗菌剤が異なる*C. glabrata*に起因する例が増加する傾向にあります。

本培地は*Candida*属菌種の検出用培地で、*C. glabrata*が特徴的なコロニー色を呈し、その他*Candida*属（主に*C. albicans*）とは簡易に鑑別することができます。

本培地に調合された銅塩及びメチレンブルーの作用により*C. glabrata*は暗褐色～緑褐色（黒茶、焦茶、褐色）のコロニーを、*C. albicans*は緑茶～淡褐色（灰茶、黄土、若葉、抹茶色）のコロニーを形成するので、その区別が容易です。なお、細菌は培地に添加されている細菌抑制物質のために、コロニーを形成しません。

37℃、72時間培養例



分離例（37℃、72時間培養の場合）

C. albicans : 灰茶色*、黄土色、若葉色、抹茶色のクリーム状コロニー

C. glabrata : 黒茶色*、焦茶色、褐色のクリーム状コロニー

（コロニー色はJIS慣用色名から引用，*は上記の培養例のコロニー色）

培地組成（培地1000mLあたり）

ペプトン……………	10.0 g	酵母エキス……………	5.0 g	ブドウ糖……………	40.0 g
硫酸銅……………	0.47g	メチレンブルー…	0.01g	ツイン80……………	3.0 g
寒 天……………	15.0 g	細菌抑制物質		pH 5.5±0.2 (25℃)	

使用法

新鮮な検体を直接培地面に塗抹し、27～37℃の恒温器内で48～96時間培養後、判定します。（5日間以上培養する際は、コロニー色が退色する場合がありますので注意して下さい。）

本培地上に生育してきたカンジダ属の菌種名の決定には、形態観察や糖利用能などの生化学的検査または血清学的検査を行って下さい。

包装形態 10本入，10本入×10
有効期間 製造後1年6ヵ月

貯 法 遮光して室温（1～30℃）保存
凍結させないようにしてください。



株式会社 セロテック

〒062-0021 札幌市豊平区月寒西1条8丁目8-7

TEL 011-855-1131 FAX 011-855-0143

お問い合わせ先（企画開発室）E-mail: kikaku@serotec.co.jp